



第66回 卒業式

紫藤通信

ようやく春めき、木々の芽も膨らみ始めた三月三日に、第六十六回卒業式が挙行された。晴れやかな顔つきをした卒業生・二七四名が、隊列を揃えての入場から式が始まった。校長先生からは「アンチグローバルズムの今日において、学ぶ姿勢を持って頑張ってほしい」と激励の言葉が述べられた。また理事長先生からは「世界が混沌とする兆しがある中で、世界の動向に目を向け地に足をつけて、自分の次のステップに向けて頑張ってほしい」とあった。さらに、後援会長荻野さんは、「素直に思っていることをやってほしい」と述べられた。最後に、同窓会会長田中さんからは「仲間と育んだ経験をもとに頑張ってください」と温かい言葉があった。

夢や希望に満ちた門出を、家族と先生方に見守られての朗らかな卒業式となった。卒業生は、この旅立ちの日を感動と涙、新たな決意とともに、一歩ずつ進んでいくに違いない。

●各賞授与

- * 山村学園理事長賞 8組…曾田芽以
- * 学校長賞 7組…岩崎由奈
- * 後援会長賞 3組…西地優貴
- * 国際文化賞 3組…菅野冬華
- * 山村要一記念賞 2組…武者荘輝
- * 山村婦みよ記念賞 5組…井上侑利亜
- * 日本私立中学高等学校連合会会長賞 6組…高野美穂
- * 埼玉県私立中学高等学校協会会長賞 2組…市川優実
- * 埼玉県私立小学校中学校高等学校保護者会連合会会長賞 4組…佐藤涼真
- * 産業教育振興中央会会長賞 5組…三浦あみ
- * 埼玉県産業教育振興会会長賞 5組…石塚莉加
- * 埼玉県体育協会会長賞 3組…桐ヶ窪亮太
- * 埼玉県体育協会会長賞 2組…宮本千都
- * 3力年皆勤賞 1組…饗庭秀行

発行所
山村国際高等学校
坂戸市千代田1-2-23
☎ 049-281-0221

印刷所
有限会社 須賀印刷

http://www.yamura
kokusai.ed.jp

卒業生へのメッセージ

校長 山田良秋

過日の新聞記事であるが、大学社会調査研究センターの報告によると、18歳から29歳の若者が社会の情報を入力する方法は、ネットが80%でテレビの71%より高く、新聞は8%にすぎなかったというところである。道行く老若男女の多くがスマホを見ている姿から納得できる統計であろう。しかし、映像は流されていく。文字の方が立ち止まったり、自分で調べたり、主体的に考えることができる。昔、書籍と映画のコマーシャルで、「読んでから見ると、読んで読むか」というものがあつた。横溝正史の金田耕介シリーズなど、角川書店の映画の宣伝コピーである。若い時であるが、私はまず本を読んでから、映像を見た。そして、小説の方が、行間を想像でき、情景が頭の中に大きく膨らんで、ずっと面白かったことを思い出す。若者の活字離れが叫ばれて久しい。卒業生や皆さんには、本や新聞を是非とも読んで、受け身の姿勢ではなく、想像力と創造力を豊かにして欲しいと考える、期待しております。

蝋螂

高校の現代文で教材の定番である『山月記』の作者

中島敦は三十三歳で亡くなり、作家としての名を上げたのは、その死後であった。▼小説の主人公李徴は科挙を受かりながらも詩人としての名声を求め、挫折していった。▼中島敦は東京帝国大学から大学院にまで進学したエリートだが、役人になるつもりはなく、女学校の教師をしながら小説家を目指した。一高から大学院まで同窓であつた釘本久春という文部官僚が、病弱な敦を気遣い、南洋・パオに植民地教育の一環、国語教科書編集のために赴任させたが、敦は結局、戦時中に病気で世を去ることになる。戦後、釘本は国語改革の仕事とともに、中島敦全集の刊行にも参加した。▼虎と化した李徴は、再会した旧友、袁修に依頼する「自分の詩を一部なりとも後代に伝えないでは、死んでも死にきれないのだ」と。▼昭和二十五年の国語教科書から『山月記』が採択されることになり、今日に至っている。旧友によって作品が残された、李徴と中島敦に、斧を振り上げた蝋螂の姿が重なって見える。

スピーチコンテスト

平成二十八年度第十回レシテーションコンテスト、第二十回スピーチコンテストが去る十一月二十六日(土)本校体育館で開催された。今年は英語総合コースの廃止で出場者の確保が心配されたが両コンテストとも例年を上回る人数となった。レシテーションは第一学年の各クラスより代表者が決定し、ネイティブの先生の指導が行われた。スピーチは日本人教師が一对一で原稿作成・発音・アクセント・表現力の指導に当った。

【レシテーションコンテスト】

1. 1-1 岩崎 優里
 2. 1-1 宮下 桃実
 3. 1-1 森 光希
 4. 1-2 南郷 真祐
 5. 1-5 井上 美月
 6. 1-5 大穂 哲也
 7. 1-8 石倉 幸
 8. 1-8 福本 桜良
- Shining Star Prize 宮下 桃実

【スピーチコンテスト】

1. 1-3 三上 愛美 / Communication and Technology
2. 1-5 両瀬 知花 / An Encounter with a Dream
3. 1-8 上野山 琴香 / My important things
4. 1-8 大西 佑香 / シャニア / Enjoy unknown world
5. 3-3 菅野 冬華 / Only One
6. 3-3 中島 寛人 / The garbage problem in Japan
7. 3-7 荻野 結 / Sweets

- Eternal Flame Prize 菅野 冬華
 Crystal Prize 荻野 唯
 Honorable Prize 三上 愛美



第37回 校内弁論大会

十二月二十六日(土)、本校体育館で、校内弁論大会が開催された。今年度は本校でも伝統ある大会の四十回目という節目にあたるものであり、各学年から選抜され、この日に向けて練習を重ねた十五名の弁士が壇上においてそれぞれの主張を堂々と発表した。

その内容は、身近な生活に密着したものや社会問題を取り上げたもの、自己の体験、様々な事柄から考えたことなど多岐にわたり、出場者たちは全校生徒・全職員の聴衆に臨んで、練習の成果を発揮した。

結果は以下の通り。

国語科奨励賞は一年六組藤 瞳の、積極性を持って生きることを訴えた「ががつがつしたつていいじゃないか」。三位の後援会長賞には二年四組石田彩愛で、聴覚障害者の意思伝達手段、手話を題材にした「ユニバーサル・コミュニケーション」。二位の夕顔賞は二年五組笹尾柚、児童虐待の現状を憂えた「子どもの

未来」がそれぞれ選ばれた。そして一位の若紫賞は、昨年に続いて出場した三年一組小山直希の「靴を履いた真実」が受賞。在日米軍の沖縄基地問題を論じた内容であった。

また、当日は勝呂公民館において、坂戸市・少年の主張大会が開かれ、本校から、昨年の弁論大会に出場した二年七組菅野葉が参加し、優良賞を受賞した。



芸術鑑賞会

十二月十三日に坂戸文化会館において、芸術鑑賞会が行われました。本年度の鑑賞内容は「古典芸能」でした。そこで大蔵流の狂言師の方々にお越しいただき全校生徒で狂言を鑑賞しました。

演目が始まるまでは、「古典芸能」ということもあり、少し硬い雰囲気になってしまっていた生徒たちも、演者さん達が登場すると、その動きや声にみるみる引き込まれ、興味関心を抱きながら鑑賞していました。

狂言は、いくつかの道具は使用しますが場面の情景というものは、ほとんどが鑑賞する側のイマジネーションに依るものです。狂言を初めて鑑賞した生徒も中には多くいたようですが、きっとその面白さに魅了されたことでしょう。

会場が特に沸いたのは、選ばれた生徒と教員が舞台へ上がり、基本となる立ち

方や歩き方、声の出し方を体験するという時間でした。

背筋はピンと伸ばしたまま膝を少し曲げるという基本姿勢は、立っているだけでも難しいようで、その姿勢を保つまま、すり足で静かに歩くという動きにはほとんどの生徒が苦戦していました。しかし、全校生徒の前で歩き方を実演したり、鳥の鳴き声や笑い方などを披露した生徒たちは非常に貴重で楽しい経験となったことと思います。

芸術鑑賞会は一年に二度の学校行事ですが、普段の学習活動とはまた異なる経験、感動というものを得ることができると思います。来年度も生徒の皆さんにとって有意義な学校行事になるよう企画していきたいと考えています。



ブリティッシュヒルズ

仮想英国での時間

引率 加藤充代・川尻卓矢

平成28年度のブリティッシュヒルズでの研修は、加藤充代・川尻による引率のもと8名の生徒が参加した(3年生生女子2名、1年生生女子6名)。福島の山中にあるブリティッシュヒルズは「仮想英国」を掲げ、園内では英語しか話せないというところで、生徒も引率の川尻も緊張していた。

到着すると、最初にアレックス先生のオリエンテーションを受けた。ブリティッシュヒルズでの講義はすべて90分に設定されており、生徒の集中がもつ心配されたが、そんなことはすぐに忘れられた。初めは、各先生方に「Don't be shy」と言われてばかりの生徒たちだったが、「やってみよう」という好奇心に駆られればとても楽しそうに授業を受け、英語に挑戦したからである。異文化コミュニケーション

は大人からしても本当に楽しく、拙い言葉でも意思疎通ができた時の喜びは大きかった。生徒たちは、日ごろ学んでいる語学の成果を試し、また課題に気付いていくことを楽しんでいようだった。

授業は、互いに質問を多く取って行う「自己紹介」、メッセージカードの作成、スヌーカー(ビリヤード)、ショートブレッドの調理実習など、堅苦しいものではなく、「実践型」授業ばかりであった。

英国には、授業以外にもふれられた。施設内の建造物はすべて英国産の材料が使われていたり、食事会場は映画に出てくるような立派なホール。宿泊棟もまるで外国であった。2泊3日という限られた時間であったが、充実の仮想空間設備のもと、綿密に組まれたプログラムを消化し、生徒たちが「異文化を学ぶ楽しさ」を感じられた研修であった。

川尻 卓矢

Monday 26th December	Tuesday 27th December	Wednesday 28th December
バス	朝ご飯	朝ご飯 部屋 チェックアウト
	900-1030 レッスン： カリグラフィ	900-1030 レッスン： クッキング
	休憩	Break
1300到着 パスポート、チェックイン、 オリエンテーション	1100-1230 レッスン： ダンス	1100 セレモニー 証明書
マナーハウス ツアー	昼食	昼食 fish'n chips
1530 部屋	1400-1530 買い物、 ティーショップ	1230 出発
1600-1730 レッスン サバイバル イングリッシュ	休憩	バス
夕食	1600-1730 レッスン： スヌーカー	
自主研修 Ye shoppe -1800 Tuck shop 1900-2000 Pool -2130 / Gym -2200	夕食	
	1900-2000 ゲームスヌーカー	

送別会



春を思わせるような暖かな晴天の中、本校の送別会が去る二月二十五日に行われました。三年生は久しぶりの登校ということでクラスメイトと楽しそうに会話している姿が見られ、穏やかな雰囲気にも包まれていました。

会が始まり、在校生は三年生への感謝の気持ちを込めて、三年生の教員は卒業を迎える三年生に労いの気持ちを込めて発表を行いました。今年度は、吹奏楽部の演奏に合わせたダンス部が踊るという部活動間のコラボレーションもありました。各団体の顧問の教員も在校生にまぎって参加するなどのサプライズも多く、終始盛り上がりつつ華やかな会になりました。また、三年生の有志も参加し、在校生やお世話になった先生方へ感謝の気持ちを発表に込めていました。



【送別会プログラム】

- 一. 三年生入場
- 二. 諸注意
- 三. 表彰
- 四. 生徒会長挨拶
- 五. 吹奏楽部
- 六. ダンス部
- 七. バトントワーリング部
- 八. よさこい部
- 九. 休憩
- 十. 軽音楽部
- 十一. 放送部
- 十二. 生徒会
- 十三. 三年生有志
- 十四. 三年生教員
- 十五. 花束贈呈・前生徒会長挨拶
- 十六. 三年生退場



バトントワーリング部

今年度のバトントワーリング全国大会は今まで部の中心となつて活躍してきた三年生の六名で挑戦した。出場メンバーにとって、山村国際高校バトン部として演技をする最後の作品となった。今回の作品のテーマは「想」
「LAST TIME」。
今まで頑張ってきた仲間と共に、支えて下さる全ての方への感謝の気持ちを込めて演技をした。受験生ということもあり、出場メンバー全員が揃わないで練習する日もあったけれども、与えられた時間の中で本番まで練習を積み重ねてきた。
本番では、ドロップは一本あったけれども、三年生らしく堂々と演技することが出来た。応援して下さった全ての方に感謝申し上げます。



進路報告

～進路指導部より～

二〇二六年度生の進路状況

【大 学】

大学入試センター試験

二〇一七年度(平成二十九年度)の大学入試センター試験の志願者数は、前年より一二一九九人増え、全国で五七五九六七人であった。本校からは八十九名が受験しました。

文高理低が続く中での結果

文部科学省は二〇一六年から、収容定員が八〇〇人以上の大規模校、および、四〇〇人以上八〇〇〇人未満の中規模校を対象に入学定員超過による私立大学等経常費補助金の不交付の基準を厳しくしています。これにより大学側は入学者数を定員通りに調整せざるを得ない状況になっていますが、特に首都圏私立の大規模大学は文系学部・学科を数多く設置しており、それらの大学が合格者数を絞り込んでいるようです。今年の実質倍率を見ると、理系は前年並みか、やや下がっていますが、文系はアップしています。合格者数の絞り込みによって、昨年に続き文系は厳しい入試になったと言えます。このような状況の中、本校では昨年度を大きく上回る受験結果が出ています。(以下は平成二十九年二月二十八日時点の入試結果になります)。

【短期大学】

本校で短期大学を希望する生徒は、例年並みの十二・七%(昨年は十二・〇%)であった。中でも多かったのは系列校の山村学園短期大学(保育学科)で、十名の進学が決まっている。また、全体的にも幼児教育・保育系は人気が高く、全短大進学者のおよそ四十七%を占め、次いで食物・栄養系が十九%を占める結果となった。

【専修学校】

専修学校を希望する生徒は、昨年よりも三%減少し、二十四・二%であった。学ぶ学科・コースは、医療関連・自動車整備・情報処理・ビジネス系など多岐にわたるが、中でも看護師・美容師・歯科衛生士の人気は根強く、それぞれ五名の進学が決定している。

【就 職】

厚生労働省発表の平成二十八年度「高校・中学新卒者のハローワーク求人に係る求人求職内定状況」取りまとめによると、埼玉県の平成二十八年十一月末までの就職内定者は六三・四二名(前年度より〇・七%増)で八十七・二%(前年度より二・七%増)。求職者七二・八二名(前年度より二・六%減)に対し、求人数一三九・六九名(前年度より八・八%増)で求人倍率は二・九二倍(前年度より〇・二九%増)となっている。これに対し本校では、消防職員二名・自衛官候補生二名を含む就職希望者十六名全員が公務員・一般企業に内定している。

国公立大学		私立大学	
首都大学東京	1	青山学院大学	2
防衛大学校	3	亜細亜大学	7
水産大学校	1	跡見学園女子大学	1
		浦和大学	2
		学習院大学	1
		神田外語大学	3
		京都光華女子大学	1
		杏林大学	2
		国士舘大学	5
		駒澤大学	2
		埼玉工業大学	4
		産業能率大学	1
		実践女子大学	2
		十文字学園女子大学	2
		淑徳大学	2
		城西大学	11
		尚美学園大学	3
		上武大学	1
		昭和女子大学	1
		女子栄養大学	1
		駿河台大学	4
		聖学院大学	2
		成蹊大学	3
		成城大学	2
		西武文理大学	2
		大正大学	1
		大東文化大学	22
		高千穂大学	1
		拓殖大学	1
		千葉工業大学	3
中央大学	1	東京電機大学	12
帝京大学	2	東京国際大学	1
帝京科学大学	1	東京工科大学	2
帝京平成大学	2	東京経済大学	1
デジタルハリウッド大学	2	東京家政大学	1
		東京家政大学	1
		東京都市大学	2
		東京未来大学	6
		東京薬科大学	2
		東洋大学	17
		東洋学園大学	1
		獨協大学	6
		日本大学	1
		日本医療科学大学	3
		日本工業大学	1
		日本保健医療大学	1
		日本薬科大学	1
		人間総合科学大学	1
		文教大学	1
		文京学院大学	2
		法政大学	3
		明治大学	1
		明治学院大学	2
		明星大学	1
		目白大学	2
		山梨学院大学	1
		立教大学	1
		立正大学	4
		早稲田大学	3

保健室だより

こんにちは。今回の「保健室から」は金曜日に保健室を担当している湯澤が書かせていただきます。

私は山国には週二回の勤務でその他の曜日は別の学校の保健室に勤務していたり、保健科の授業を担当していたりします。合計で三校に勤務しています。新卒なのですが二年間で三つもの学校、その生徒、保健室を見させてもらったことは私にとって、大変有難い経験です。その中で感じた保健室の役割について書かせていただきます。

まず学校にはそれぞれの色があります。ですので、保健室に求められるものも学校によって様々です。しかし、「保健室は学校、教育機関の一部」ということを忘れてはなりません。山国では保健室を利用する際のルールがありますね。「授業中は保健委員と来室する」「ベッドでの休養は「時間まで」「体温を計るだけでも利用状況個人票を書くこと」等々。それらのルールに

は意味があります。そしてそのルールを守ることで身に付く力があります。自己管理能力です。高校生はこれから社会にでるための準備期間です。社会に出たら「今日は調子が悪い気がするから休む」「起きられなかつたから行かない」「お腹が痛いから寝てでもいいかな」は通用しないのです。ですので今から体調が悪くなつた時、ストレスが溜つた時自分で対処できるようにトレーニングを始めなければなりません。初めは対処の仕方が分からないのは当然です。わからない時は保健室に来てください。私たちはアドバイスをします。対処法と一緒に考えます。そうすることで新たに自分の面を知ったり、可能性に気付いたりします。そこから考えを発展させ、様々なパターンに対応する力も身につくと思います。私たちはそのサポート役であり、保健室も教育の場なのです。自分の体のことをよく知って、心と体の健康を自己管理できるようにし、これからもイキイキと過ごしてください。私たちはいつでも皆さんの味方です。

双葉高校と最後の交流会

昨年十二月十五日、本校旧生徒会役員(一部有志を含む)五名が、紫藤祭でご協力頂いた義援金九万円を直接届けるために、福島県立双葉高校との交流会に臨みました。この三月で双葉高校は休校となつてしまつたため、平成二十四年以來続けてきた同校との交流会もこれが最後となつてしまいました。お互いに交流する生徒は入れ替わつていったものの、年を追うごとに心と心で交流することが出来ました。これまでご協力ご支援を頂きました皆様に深く感謝いたします。



事務室だより

補助金・施設担当

皆様には、日頃授業料の納入、就学支援金、及び埼玉県の父母負担軽減申請等では、大変お世話になり、平成28年度の就学支援金及び授業料軽減補助については、皆様のご協力により手続きが完了し、現在届け出のある授業料振替口座への振込処理をさせて頂きましたので確認をお願い致します。

なお、「もしかして申請を忘れたかもしれない」という方がいらっしゃいましたら、お気軽に事務室までご連絡ください。年度内(3月末)まででしたら追加申請が可能です。

新2年生・新3年生の方々については、平成29年度になりましたら引き続き「就学支援金・授業料軽減」についての書類を提出して頂くことになります。例年通りですと第1回目の申請は、5月6月に生徒を通して皆様に届けさせて頂きますので、何とぞよろしくお願い致します。お手元に資料が届かない場合は、お気軽に事務室までご連絡ください。

また、事務事業に対しまして多大なご理解とご協力をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。事務事業や施設関係でご不便をお掛けしている所もあるとは思いますが、全ての生徒が安心・安全、そして、勉強や部活動に打ち込める環境づくりを順次整えていきたいと思っております。引き続きの、ご理解とご協力をお願い致します。